

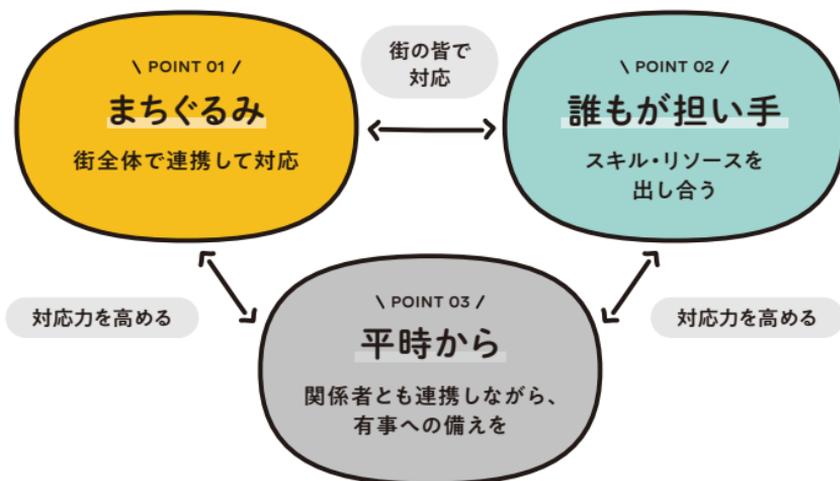
TAKANAWA GATEWAY CITY 地区

防災心得 カード



TAKANAWA GATEWAY CITY

地区の防災とは？



2025年、新しく始まるこの「えきまち」は、建物や施設それ自体だけでなく、街全体をつくる試みです。それは防災においても同様。都内でも有数の人口が往来するこの街だから、帰宅困難者を支え、周辺地域も助ける仕組みづくりをしています。

そんな街で過ごす働き手の皆さまの、防災時の心得。それは、一人ひとりが自分を守り、冷静になること。周囲の人と連携すること。

そして、来場者の「誘導」や「支援」にはじまり、誰もが「安心・安全」づくりの担い手として、スキルを惜しみなく発揮できること。

「まちぐるみ」で有事に備え、地域そのものを皆で守る。

そんな心構えをカードにしました。

目に見えるところに置いていただけると幸いです。



4 PLAYERS

リーダー LEADER



不特定多数の被災者のために、明確なタスクをお持ちの人や組織。

ビル管理者 一時滞在施設の運営者

鉄道会社

エキスパート EXPERT



職業柄の能力を活かすこと、空間や物資を提供することで被災者に貢献できる人や組織。

スポーツインストラクター

ホテルマン

飲食店スタッフ

サポーター SUPPORTER



健康で動ける状態で、被災者のために貢献できる人や組織。

オフィスワーカー

テナント従業員

コーディネーター COORDINATOR



エリアマネージャーとして平時から交流を深め、顔の見える関係をつくる。有事には、調整役を。

高輪ゲートウェイエリアマネジメント

TAKANAWA GATEWAY CITY地区に かかわる皆さまへ

この「えきまち」は、エリアマネジメントの取り組みや、情報ネットワーク、自立的な発電施設といった都市基盤を整備した、先進的なまちづくりを進めている地域です。そこで働くキャストの皆さまで掲げる行動指針の一つに「**Safety**」というテーマがあり、このカードは「**Safety**」の心がけを示したものです。

えきまち一体で「安全・安心」を目指すこの地域は、非常時のネットワークも完備し、さらに周辺地域も支援する広域防災拠点にもなります。この街に集う皆さまとともに成長していきます。



身近なところに貼ったり、置いたりするのがおすすめです

一般社団法人
高輪ゲートウェイ
エリアマネジメントHP

リーダー
LEADER



街の建物や施設、鉄道を管理し、インフラを運営する皆さんは、有事の際にも落ち着いて指示をする「リーダー」です。建物の安全確認、滞在施設の開設、各所との連携、街への情報発信による誘導・支援——、街全体の流れを意識し、そこに過ごす人に「安心・安全」を届ける心構えをお願いいたします。

✎ リーダーの心得

平時の心得

- ☑ 防災訓練と、災害時マニュアルの整備を
- ☑ 関係者との連携体制を事前に調整
- ☑ できれば、街の関係施設とも連携できるように

有事の心得

- ☑ まずは建物・施設の安全確認。
そして早期の復旧を目指す
- ☑ 利用者の「誘導」と「支援」。
一時滞在施設の開設を
- ☑ 施設・駅構内に滞在される要配慮者への対応を
- ☑ 各施設との情報連携を助け、
街へ発信すること

＼ 主な役割 /

- ① 管轄する建物・施設の安全確認、利用者の適切な誘導
 - ② 所属する組織や施設の各所との情報連携と発信、待機場所の確保
- +@ コーディネーターと連携し、街区・施設間の協力体制を支えましょう

防災を念頭においたこの街には、有事のための通信設備・エネルギーシステムがあります。その仕組みを適切に活用し、各施設やコーディネーターと共に地域の復旧を助ける備えをしましょう。



エキスパート
EXPERT



普段から多くの人が集まる場所で働く皆さん。有事の際は、その場所の特性や職業柄の技能を活かす「エキスパート」として、身近なところから安心・安全をつくる備えをお願いします。たとえば、空間や物資の提供、配慮が必要な方の支援。皆さんの経験と視点は、どんな時も周囲の人の助けになります。

✎ エキスパートの心得

平時の心得

- ☑ 防災訓練では、災害時にとるべき行動を事前に把握
- ☑ 有事の際の役割分担をシュミレーションしておく
- ☑ できれば、関係者との事前調整を

有事の心得

- ☑ まずは安全確認。そして要配慮者への優先支援を
- ☑ 電話等による状況報告と、お客さまへの声掛け・発信
- ☑ ビル管理者や防災センターと情報を連携しましょう

＼ 主な役割 /

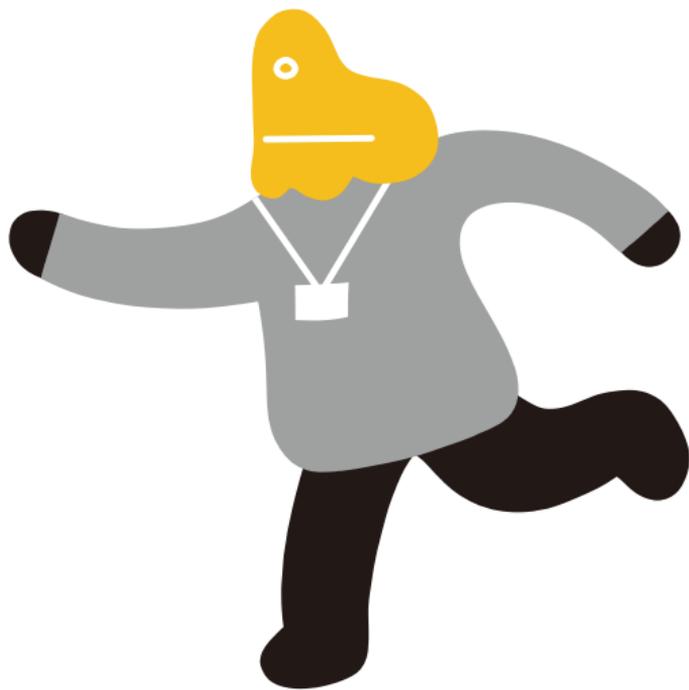
- ① ビル管理系からの情報発信を受け取り、適切に伝達
 - ② 利用者への対応と、一時滞在施設の運営支援
- +📞 施設内で余裕のある空間や設備、食料や毛布の提供をお願いします

有事には多くの帰宅困難者のための場所となるこの街。まずは自分の安全を確保し、災害マニュアルに沿って落ち着いた行動を。そして所属する施設の力を活かしつつ、関係機関との連携、周囲の人々へ誘導・支援を行いましょう。



サポーター

SUPPORTER



この街で働く皆さん、有事のときに街の防災を助ける「サポーター」として、街を支えましょう。周囲への声掛け、防災訓練への参加、専門技能を持つ方のお手伝い。街に過ごす人たちを積極的な意識をもって助けていきましょう。その心得は、きっと普段のあなたの生活でも役立つはずです。

✎ サポーターの心得

平時の心得

- ☑ 来訪者や帰宅困難者の「誘導」や「支援」の意識を
- ☑ 災害時にとるべき行動と流れを事前に把握
- ☑ 防災訓練や勉強会には、できるだけ参加

有事の心得

- ☑ ひとりひとりにできることがあります。
まずは、落ち着いて行動
- ☑ 居合わせた場所や状況に応じて、臨機応変に
- ☑ 必要な情報を発信・受信できるよう、
できれば関係機関と連携を
- ☑ 小さなアクションでも、
一人ひとりが動くことで好循環が生まれる

＼ 主な役割 /

- ① 管理者や運営者からの情報発信を受け取り、適切な伝達を
- ② 周囲への積極的な対応と声かけ
- ③ 要請があった場合、一時滞在施設の運営に協力ください

各社の災害時マニュアルはもちろん、一時滞在施設の場所や退避ルート、有事の際の連絡先などを確認しておきましょう。
あなたの自律的な行動が、周囲の人を助けます。



コーディネーター

COORDINATER



エリアマネジメントに携わる皆さんは、有事のときには情報やリソースの流れを調整する「コーディネーター」に。日常からの交流の場づくりや、街の中で顔の見える関係を営むことが有事の備えにつながります。災害時でも「えきまち一体」のエリアを循環させていきましょう。

✎ コーディネーターの心得

平時の心得

- ☑ 企画や行事などを通じ、街で過ごす人たちとの交流を深め、周囲の各プレイヤーとも顔の見える関係を構築しておく
- ☑ 防災訓練などで、災害時にとるべき行動と流れを事前に把握

有事の心得

- ☑ 管理者や運営者からの情報発信を受け取れる体制を整える
- ☑ 必要な人や場所に、必要なリソースが届けられるように調整を

\ 主な役割 /

- ① 各プレイヤーとの連携を調整し、適切な配置を
 - ② ビル管理系や、鉄道関係、一時滞在施設等との情報連携
- ✦@「街からの派遣支援員」としてえきまち間の情報連携をサポート

平時から、各所の退避経路や連絡網など、街の防災ネットワークを意識しておきましょう。街と人をつなぐ道筋を見据えて行動することで、有事のときに円滑な連携をとることができます。

